

## アルテコ 工業用接着剤カタログ



Speed & Power

Cyanoacrylate Adhesives

瞬間接着剤

Quick & Strong

Epoxy Adhesives

エポキシ樹脂系接着剤

Create & Innovate

High Performance Adhesives

高性能接着剤

# Quick & Strong



人と環境に優しい接着剤づくりへ  
挑戦を続けています



## エポキシ樹脂系接着剤 Epoxy Adhesives

アルテコ「エポキシ樹脂系接着剤」は強靱な接着力、耐熱性、耐薬品性など優れた性能を発揮します。  
電気・電子から設備用途まで、さまざまなニーズにあわせて最適なグレードをご提供いたします。

- 強靱な接着力 …………… 多くの材質の接着が可能です。特に金属、コンクリート、多孔質材の接着性に優れます。
- 優れた耐久性 …………… 耐熱性、耐水性、耐候性、耐薬品性に優れています。
- 低硬化収縮 …………… 揮発性溶剤を含まないので、硬化による収縮がほとんどありません。
- 電気絶縁性 …………… 電気を通しません。優れた絶縁体です。
- 環境対応 …………… 低ホルマリン性の接着剤です。  
JAIA F★★★★／4VOC基準適合に登録済みです。



タイプ	速硬化							
品番	F-05		F-05C		F-30		F-30C	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
用途	●一般的な接着 (金属、ガラス、陶器、木、プラスチック)		●一般的な接着で、透明性の必要な場合(金属、ガラス、陶器、木、プラスチック)		●一般的な接着 (金属、ガラス、陶器、木、プラスチック)		●一般的な接着で、透明性の必要な場合(金属、ガラス、陶器、木、プラスチック)	
特長	●5分硬化 ●半透明で液ダレなく、盛り上げができます。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●5分硬化 ●F-05のクリアータイプ ●接着部分がめだちません。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●30分硬化 ●半透明で液ダレなく、盛り上げができます。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●30分硬化 ●F-30のクリアータイプ ●接着部分がめだちません。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合	
外観	乳白色	白色半透明	無色透明	黄色透明	乳白色	白色半透明	無色透明	黄色透明
硬化後の色	乳白色		淡黄色透明		乳白色		淡黄色透明	
主成分	変性エポキシ	変性ポリチオール	変性エポキシ	変性ポリチオール	変性エポキシ	変性ポリチオール	変性エポキシ	変性ポリチオール
粘度(mPa・s/25℃)	ペースト	ペースト	15000	13000	ペースト	ペースト	15000	16000
比重(d <sub>4</sub> <sup>20</sup> )	1.16	1.13	1.17	1.13	1.20	1.20	1.17	1.14
混合比(重量)	100/100		100/100		100/100		100/100	
可使時間(25℃)	3分		3分		20分		20分	
硬化時間	5分		5分		30分		30分	
引張りせん断強度	15N/mm <sup>2</sup>		10N/mm <sup>2</sup>		15N/mm <sup>2</sup>		13N/mm <sup>2</sup>	
硬度(ショアD)	78		80		78		80	
保存期間	1年		1年		1年		1年	
容量/荷姿	70gセット アルミチューブ 1kgセット ラミチューブ		1kgセット ラミチューブ		45gセット アルミチューブ 1kgセット ラミチューブ		1kgセット ラミチューブ	

タイプ	透明注型用				カートリッジタイプ			
品番	R-2007/H-1040		R-2007/H-2002		マゼラン52		マゼラン300T	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
用途	●接着、注型、ポッティング、コーティング ●小型注型用 ●電気部品の注型、ガラスや装飾品の接着		●接着、注型、ポッティング、コーティング ●中型～大型注型用 ●透明性を要求される場所の接着、注型		●一般的な接着 (金属、ガラス、陶器、木、プラスチック、石材、コンクリート)		●金属や木材などの建材製品の接着・固定 ●車止め・大理石・レンガ・ブロックなどの補修・接着 ●マグネットなどの各種電器部品の絶縁接着・固定	
特長	●透明・耐黄変性に優れます。 ●硬化物の硬度が高く、光沢もよい。特にガラスへの接着に向きます。 ●硬化条件:常温～中温硬化 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●透明・耐黄変性に優れます。 ●硬化物の硬度が高く、光沢もよい。特にガラスへの接着に向きます。 ●硬化条件:24時間でゲル化、その後加熱硬化させます。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●2剤が1体のカートリッジになっており、ハンドガンにセットして混合と塗付が同時にできます。 ●白系石材の接着でシミができません。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●2剤が1体のカートリッジになっており、ハンドガンにセットして混合と塗付が同時にできます。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合	
外観	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	白色	ベージュ	白色	黒色
硬化後の色	無色透明		無色透明		ベージュ		灰色	
主成分	変性エポキシ	変性ポリアミン	変性エポキシ	変性ポリアミン	変性エポキシ	変性ポリアミン	変性エポキシ	変性ポリチオール
粘度(mPa・s/25℃)	3000	50	3000	80	ペースト	ペースト	ペースト	ペースト
比重(d <sub>4</sub> <sup>20</sup> )	1.17	0.99	1.17	0.98	1.30	1.16	1.17	1.10
混合比(重量)	100/40		100/40		100/100		100/100	
可使時間(25℃)	45分		5時間		30分		10分	
硬化時間	24時間		24時間		24時間		24時間	
引張りせん断強度	15N/mm <sup>2</sup>		14N/mm <sup>2</sup>		20N/mm <sup>2</sup>		14N/mm <sup>2</sup>	
硬度(ショアD)	82		80		75		80	
保存期間	1年		1年		1年		1年	
容量/荷姿	主剤:1kg ポリ容器 硬化剤:400g ポリ容器		主剤:1kg ポリ容器 硬化剤:400g ポリ容器		50ml カートリッジタイプ		300ml カートリッジタイプ	

1mPa・s=1cPs 1N/mm<sup>2</sup>=10kgf/cm<sup>2</sup>(詳しくは10.197kgf/cm<sup>2</sup>)

試験方法:JIS K6833(1994)接着剤の一般試験方法に準ずる。 JIS K6850(1999)接着剤-剛性被着材の引張せん断接着強さ試験方法に準ずる。

タイプ	汎用	
品番	6100	
	主剤	硬化剤
用途	●一般的な接着 (金属、ガラス、陶器、木、プラスチック)	
特長	●汎用 ●金属、プラスチックなどに対し、幅広く接着できます。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合	
外観	無色透明	黄褐色透明
硬化後の色	黄色透明	
主成分	変性エポキシ	変性ポリアミド
粘度(mPa・s)	20000	40000
比重(d <sub>4</sub> <sup>20</sup> )	1.17	0.98
混合比(重量)	100/100	
可使用時間(25℃)	1時間	
硬化時間	24時間	
引張りせん断強度	13N/mm <sup>2</sup>	
硬度(ショアD)	80	
保存期間	1年	
容量/荷姿	2kgセット 丸缶	

タイプ	耐熱			
品番	3500		3600	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
用途	●接着、充てん、シール、絶縁		●接着、充てん、シール、コーティング	
特長	●常温硬化、高強度 ●耐熱性(150℃)、耐薬品性に優れます。 ●JAIA F★★★★/4VOC基準適合		●常温硬化、高強度 ●耐熱性(150℃)、耐薬品性に優れます。3500のクリアータイプ ●低粘度のため塗付しやすく、広い面積の接着や小型接着に向きます。	
	常温硬化し、加熱硬化型に匹敵する耐熱性と強度が得られ、加熱できない大型のものや現場での接着に向きます			
外観	暗緑色	ベージュ	赤褐色透明	黄色透明
硬化後の色	暗緑色		暗褐色透明	
主成分	変性エポキシ	変性ポリアミン	変性エポキシ	変性ポリアミン
粘度(mPa・s)	ペースト	ペースト	24000	1500
比重(d <sub>4</sub> <sup>20</sup> )	1.31	1.50	1.16	1.01
混合比(重量)	100/50		100/32	
可使用時間(25℃)	2時間		5時間	
硬化時間	常温 24時間 加熱促進 80℃×30分		常温 24時間 加熱促進 80℃×30分	
引張りせん断強度	常温 20N/mm <sup>2</sup> 150℃下 12N/mm <sup>2</sup>		常温 17N/mm <sup>2</sup> 150℃下 12N/mm <sup>2</sup>	
硬度(ショアD)	80		80	
保存期間	3カ月		6カ月	
容量/荷姿	990gセット ポリ容器 主剤660g 硬化剤330g		1kgセット 丸缶 主剤758g 硬化剤243g	

1mPa・s=1cPs 1N/mm<sup>2</sup>≒10kgf/cm<sup>2</sup>(詳しくは10.197kgf/cm<sup>2</sup>)

試験方法:JIS K6833(1994)接着剤の一般試験方法に準ずる。 JIS K6850(1999)接着剤-剛性被着材の引張せん断接着強さ試験方法に準ずる。

### 硬化時間の傾向

硬化時間	おそい	↔	はやい
混合量	少ない	↔	多い
温度	低い	↔	高い

- ・ 可使用時間も同様に影響を受けます。
- ・ 適度な温度環境でより効果的に使用できます。

### 粘度の傾向

粘度	低い	↔	高い
温度	高い	↔	低い

- ・ 温度が低いと粘度が高くなり、混合攪拌作業がしにくくなります。
- ・ 温度が高いと粘度が低くなり、液ダレなどにより塗付しにくくなります。
- ・ 適度な温度環境でより効果的に使用できます。

### ◆かぶれの防止対策

エポキシ樹脂系接着剤は皮フ、眼、喉、粘膜に刺激をあたえ、かぶれやかゆみを起こす場合があります。何度かかぶれると、感作作用によりかぶれやすくなるので注意してください。

- (1)作業前に、換気、眼鏡、マスク、手袋(PE、ゴム)などを準備してください。皮フが露出する部分は、あらかじめ保護クリームを塗ってください。
- (2)作業環境(机、容器)をきれいにし、こぼれたり付着した場合はただちにふき取ってください。
- (3)作業終了後は、石けんと水でよく洗ってください。

※症状については必ず医師の診断を受けてください。

### 【接着用語】

可使用時間:2液を混合攪拌後、塗付作業ができる時間。(通常は、初期粘度の2倍、または発熱ピークの60%に達する時間をさす。)

硬化時間:接着強度や物性(引張り、圧縮、硬度など)が、ほぼ一定になり始める時間。

引張りせん断強度:接着された試験片にせん断荷重を加え、外れた時点の最大荷重を面積で割った数値。

チキソ性:静置状態ではゲル状で、攪拌や振動を与えることにより流動性を示し、放置すると再びゲル状に戻る性質。

## エポキシ樹脂系接着剤の使用法

## (1) 接着するものの表面調整

接着面についている汚れ、水分、サビ、油を取り除いてください。

## (2) 取り出し計量

主剤と硬化剤を指定の配合比で取り出してください。

[注 意]

●主剤に対し、硬化剤は±5～10%の誤差で計量してください。特に耐熱、その他、厳密な特性を要求される場合は、誤差を極力小さくしてください。

●基本的には同じヘラで主剤と硬化剤を取り出さないでください。同じヘラを使う場合は、よくふき取ってから使用してください。

## (3) 混合

主剤と硬化剤が均一になるよう混ぜ合わせてください。

[注 意]

●紙コップなどの容器を利用する場合は、周辺や底の面にムラが出ないようにしてください。

●PEなどの板を利用する場合は、ヘラで板の面がでるまで確実にすくい取り、混ぜ合わせてください。

●コップや板の隅の部分は、混合不十分の可能性があります。少量使用の場合、硬化に影響が出るので使用しないでください。

## (4) 塗付、接着、貼り合わせ

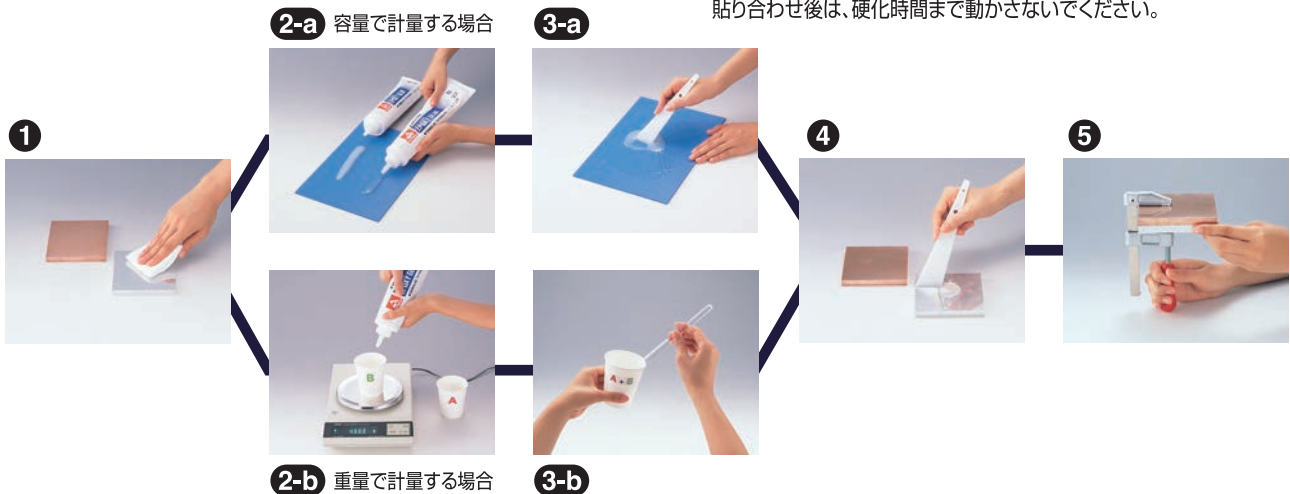
接着する面に塗付し、すぐに貼り合わせ、動かないよう固定してください。

[注 意]

●可使時間をすぎると、硬化が始まります。時間内に塗付し、貼り合わせを完了してください。

## (5) 固定

貼り合わせ後は、硬化時間まで動かさないでください。



## お使いになるときの注意



## 皮フについた場合

すぐにふき取り、石けんと水や湯水でよく洗い流してください。かゆみ、炎症が出た場合はすみやかに医師の診断を受けてください。



## 眼に入った場合

すぐに多量の水でよく洗い流し、すみやかに眼科医の診断を受けてください。



## 吸引した場合

主剤と硬化剤および混合時の温度上昇にともなう蒸気を吸入して、かゆみなどの異常が生じた場合はすみやかに医師の診断を受けてください。



## 飲み込んだ場合

無理に吐かせず、ただちに医師の診断を受けてください。



## こぼれた場合

紙や布でふき取ってください。量の多い場合は、フタ付きの容器に回収してください。



## 火災が起きた場合

火元への焼却源を断ち、粉末、炭酸ガス(ABC型)消火器により風上から消火してください。



## 作業環境

混合、注入、塗付、接着工程などの作業場には、局所排気装置を設置してください。



## 正しい服装

直接人体に触れないよう、不浸透性の手袋、長袖の作業衣などを着用し、直接手で取り扱うような作業方法は避けてください。

## お使いになった後の注意

- 作業台など、汚れたところをきれいにしてください。
- 容器のフタやノズル、使用した器具などに付着した主剤、硬化剤をふき取ってください。(主剤と硬化剤のフタをまちがえると、取れなくなることがあります。)
- 作業後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。
- 容器を密閉して、乾燥した冷暗所に保管してください。
- 幼児の手の届かないところに保管し、いたずらをしないように注意してください。

## 廃棄するときの注意

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律ならびに都道府県条例などにもとづく焼却処理か、許可を受けた処理業者に委託してください。
- 容器やウエスなども同様にしてください。

- このカタログに記載の数値は、諸条件により実際の数値と一致しない場合があります。性能を保証するものではありません。あらかじめ使用条件に適合するかどうか、十分なテストの実施をお願いいたします。
- 商品のデザイン、外観、このカタログに記載している性能など、全ての仕様は予告なしに変更する事があります。
- ご使用の際は弊社発行の安全データシート(SDS)をご参照の上、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件の設定をお願いいたします。
- 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

●代理店

## 株式会社アルテコ

本社 〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町 5-8 TEL.072-627-1617 FAX.072-627-1633  
 東京営業所 〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-7 TEL.03-3518-5305 FAX.03-3256-1533  
 名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-18-11 TEL.052-211-1340 FAX.052-232-1518

■URL <http://www.alteco.co.jp>

■E-mail [info@alteco.co.jp](mailto:info@alteco.co.jp)

アルテコ

検索



ISO9001:2015  
 ISO14001:2015  
 認証取得 滋賀工場

※ホームページにて、SDSのダウンロードができます。  
 また、お問合せも承っております。